

## 全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 8 月度理事会議事録

平成 22 年 8 月 18 日 (水) 午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 37 クラブ(欠席 5 クラブ)

池田協会長挨拶

- ・皆さん、こんばんは、猛暑が続いており、我々は、日中の釣りが多いですが、是非熱中症には充分注意して下さい。先日行われた事故防止講習会には、大勢の参加有難うございました。参考になる話であったと思います、来年はどうするかは、また検討させていただきます。
- ・藤原副会長を議長として 19 時 10 分議事に入る。

### 第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟本部 8 月連盟本部役員会報告 (池田協会長)

(連盟議事録から転載)

日時：平成 22 年 8 月 4 日 (水) 場所：新大阪丸ビル

#### ■審議 1

第 42 回クラブ対抗キス投げ釣り選手権大会 PT 大阪協会

池田 PT 責任者

- ・ 88 チーム 239 名 (エントリー 250 名) の参加により開催いたしました。成績の方は大会史上空前の釣果であり、一人 1 kg 超す方も大勢いました。これも故人となられた前協会長の配剤であったとも思わせるほどでありました。大会スタッフ一同も盛況な大会に安堵するとともに、喜んでおります。
- ・ 当日団体優勝、二位、三位のチームにバッジをお渡ししていなかった。優勝の高知協会には郵送しましたが、二位、三位は本日出席の協会さんに該当チームがいるので、お手数ですが託けいたしますので、よろしく願います。
- ・ 次に注意点として、当日になって欠席チームがあったが、連絡が無いことから、途中で事故に遭遇などの心配もした。後日何事も無かったと判明したが如何なる場合も、連絡することの徹底を図っていただきたい。
- ・ 大会本部として使用していた福祉会館のトイレは事前に使用禁止として通達していたにも関わらず守られていなかったのが大変残念であった。
- ・ 表彰会場や駐車場の敷地内にゴミやタバコの吸い殻が散乱していた。不心得な参加者が皆無となるよう、特に参加協会には注意を喚起願いたい。

#### ■審議 2

全日本キャスティング選手権大会 PT 兵庫協会

谷後 PT 責任者

- ・ 参加申し込みについては締切りが 9 月 9 日と言うこともあり、届いていない。

松井 SC 事務局長

- ・ 当日 B コートの放送機材を兵庫協会にて用意してほしい。

谷後 PT 責任者

- ・ 機材は電池式のものしかないが、これを当日持参する。

松井 SC 部長

- ・ シマノさんおよびグローブライド (旧ダイワ精工) さんから協賛を賜りましたので、本会にご報告をいたします。尚、協賛品はすべて当該大会のラッキー賞として使用いたします。

谷後 PT 責任者

- ・ 菅原北海道協会長より要請のあった成績表の途中掲示は、兵庫協会会員によって担当する。(掲示に使用するボード板は広島協会にお願いした)
- ・ 台湾遠投協会から参加の意向は聞いている。選手の方には休憩時に利用していただくため、簡易型のテントを兵庫協会にて用意する。

松井 SC 部長

- ・賞品について予算と配分資料を作成する。併せてゼッケンの件もあるので、参加締切り後は速やかに、本部 SC 部まで詳細を報告してほしい。尚、選手が着用するゼッケン入りシャツだが対抗戦はシマノ社さん提供のものを使用した。したがって今回の選手権ではグローブライド社さん提供のものを使用する。

谷後 PT 責任者

- ・両件とも了解しました。尚、シャツは兵庫協会 SC 部（永谷次長）まで送付していただきたい。

岩田連盟会長

- ・当日の昼食弁当だが、会場および競技担当の両協会の中で、選手外としてお手伝いに従事していただく会員さんの分は本部で提供する。数量をまとめる PT ではその辺りの仕分けをよろしく願います。

### ■審議 3

第 93 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会 PT 大分協会

大田事務局長（PT 欠席のため説明代行）

- ・会場一覧表を配布する。今大会は「道央会場」から「唐津会場」の 46 会場となっている。出席役員には記載内容のチェックをしていただきたい。

出席役員

- ・数か所について修正の指摘がある。

大田事務局長

- ・指摘の箇所に修正を施し、PT から各協会長まで発送いたします。

野村会計部長

- ・検寸担当者（釣り場責任者）の作業に際し、審査提出魚の硬直を取り、口を開けて計ること、さらに検寸魚の胸びれをカットすることと明記している。最近この作業が疎かになっており、原因として大会要項から明記部分が抜けている。単に抜けているだけであれば再度明記するようお願いしたい。

岩田連盟会長

- ・ホームページ、会報、PT など全ての関係書類を確認し、善処する。

### ■審議 4

各専門部報告

大物部

池田部会委員/帷企画部長

- ・大物 300 号達成者の活動目標を先月からおこなっている。並行して、シロギス・キュウセン（いずれも D ランク）とホッケの寸法見直しは、時期尚早として保留する。今回は 300 号達成後の目標となる、仮称「第二ステージ」として申請魚種および申請寸法などを案出した。内容は EFG の三ランク・20 魚種をピックアップしている。達成者に関わる企画であり、案ではあるが多くの会員さんの意見を集約して年度内の常任理事会で採決し、年末総会で承認を受けたい。したがって魚種の追加または削除。さらに寸法の加減などもお聞かせいただきたい。

岩田連盟会長

- ・協会長さんには詳細案の資料をお送りするので、会員さんの意見・提言をまとめ 9 月連盟常任理事会に臨んで下さい。尚、欠席協会さんには、文書として大物部長宛に提出していただきたい。

注・「第二ステージ案」の詳細はホームページの告知板に掲載します。

日本記録魚承認（池田議長）

- ・以下の日本記録申請が届いた。出席役員には慎重審査を願いたい。
- ・審査の結果、すべて適正であると認め、全員の挙手によって承認された。

マハタ 130.2 ㌔ (実寸 124.0 ㌔ 40 kg)

坂井久之さん（愛知協会・サーフゴンベッサ所属）

平成 22 年 7 月 28 日 愛知県田原市高松海岸

SC 部

松井 SC 部長

- ・SC 競技大会で達成した記録を公認している二大会（対抗戦・選手権）に連盟が認定した協会主催の大会を加えることを現在の SC 規約に追記したい。

岩田連盟会長

- ・北海道協会要望の記録認定の件を目的にする追記であれば、「全日本サーフ認定・SC 北海道オープン大会運用規定」としていただきたい。

松井 SC 部長

- ・了解しました。9 月常任理事会では当該部分を整理、作成したものを提出するよういたします。
- ・別事項ではあるが、「SC 報告書」に同封している写真の中で、ヘルメットを着用していない計測担当員がいる。大変危険なことであり、ルール違反でもある。競技主催者には充分注意を払われるよう要請する。

## ■審議 5

その他

環境部 渡辺環境部長

- ・8 月 4 日現在、各協会のクリーンアップ実施状況を一覧表にまとめた書類を配布し、気づいた点を報告する。
- ・実施予定日が過ぎているが、徳島協会、宮城協会、大分協会、青森協会には終了報告が届かない。  
注・宮城協会の報告は届いていることが判明した。
- ・実施状況を拝見すると海浜清掃は順調に進んでいると思われる。
- ・ゴミ袋配布については殆どの協会が地区の行政から提供を受けたものを使用しているため、メーカー提供のものを環境部から発送する機会は減っている。
- ・各協会に環境部を設置し、責任者として部長を任命していただく要請に対し、長崎協会のみ責任者の任命報告がない。
- ・ホームページに掲載している協会長のコメントだが、三協会長の提出がない。継続してほしいが、いまだ理解いただけないのか届かない。この辺りについては連盟と協会のクリーンアップに対する温度差を感じる。

事故防止部 谷後事故防止部長

- ・現在の事故防止規定にヘルメット着用/救命胴衣着用範囲の拡大/海難事故の通報先などを追記した文書を 9 月常任理事会に提出し、採決を諮りたい。  
注・釣り場での飲酒についても加えた。

会計部 野村会計部長

- ・45 周年記念事業/東西 100 人の会/クラブ対抗キス。三行事の会計について全資料を精査しており、同時に監査を受けている段階でもある。9 月常任理事会にて報告できるよう作業を進めております。

岩田連盟会長

- ・いままで、当方の会社所有のパソコンを連盟本部用としても使用していたが、故障・修理となった。修理を待つことは本部に支障を来すので、急遽ノートパソコンを購入（費用立替）した。9 月常任理事会に於いても報告するので、この機会に連盟本部専用として購入を承知願いたい。

資材部 蔦資材部長

- ・連盟認定スケールに印刷されている JIS マークだが、裏面はミリ単位でないこともあり、マークの趣旨に適合しない。したがって新たに注文する品から、マークはありません。但し、品質の正当性を示すためメーカーの品質証明書を発行すると回答をいただいている。

松井 SC 部長

- ・キス段位制にある昇段規定では、技術面が取り上げられている。そこで SC にある女性を対象にした女性種目（100 ㍓）規定を昇段規定にも適用してほしい。

帷企画部長（段位制担当委員）

- ・要望の趣旨が良く理解できないが今後の検討課題としたい。

編集部 伊達編集部次長

- ・ 45 周年記念誌の修正部分に貼り付ける訂正シールだが、要望のあった協会は兵庫、香川、広島  
の三協会のみであった。会報に正誤表を掲載し、切り取れる体裁にもしているが、こちらで対  
応できないか？

谷後兵庫協会長

- ・ 貼る、貼らないは別としてシールとして作成願いたい。

岩田連盟会長

- ・ 訂正箇所の方は協会提出の資料に基づいている。しかし、そのことよりも正誤表を会報に掲  
載するのであれば一々貼り付けに手間の掛かるシールは実行面に乏しく、殆どが未使用になる  
とも思える。そうなるのは資源の無駄となりエコ活動にも逆行する。取りあえず正誤表で様子  
を見たい。

2011 年度投げ釣り手帳 伊達編集部次長

- ・ 9 月から、手帳の編集に着手する。各協会および部署の関連事項などに変更する部分があれば  
10 月連盟会議を目途として提出（文書）していただきたい

### 第 2 号議案 事故防止講習会について（大田事故防止委員長）

- ・ 8 月 1 日行われた事故防止講習会についての報告があった。  
37 クラブ・97 名の参加があり、海上保安庁の方より救命具について話をしていただき、今後  
も釣行時には、救命具の着用が大切であるとの内容であった。協会の HP にも UP するので、  
また見ておいて下さい。

### 第 3 号議案 協会クラブ混合キス釣り大会について（伊達キス段位制担当）

- ・ 来週予定通り開催する、参加人数は 60 名、表彰は、個人 1 位～5 位 団体 1 位～3 位、個人の  
1 位～5 位までの方は、次年度の 100 人会への出場資格を与えるとの報告があった。

### 第 4 号議案 第 127 回協会秋季大会について（PT：大阪サーフ）

- ・ 本配布の「あげしお」261 号に要項を載せている、表彰については、1 位～50 位としている  
が、参加人数によっては、50 位にならないかもしれないが了承いただきたい。  
参加申込の締切日が、9 月 15 日になっているが、29 日の誤りである旨報告があった。

### 第 5 号議案 夏期 SC 通信大会について（片岡 SC 次長）

- ・ 10 月 3 日（日）に開催、場所は春季大会（天候不良にて中止）と同じ和泉市で行う、集合時間  
は午前 6 時、参加及び資材の申込は、9 月理事会で受付けます。  
全日本 SC 選手権大会（10 月 17 日開催）参加希望者は、本日申し出て下さいとの要請があっ  
た。

### 第 6 号議案 第 93 回全日本カレイについて（事務局）

- ・ 11 月 21 日開催の全日本カレイについてのエントリー方法については、本日 PT より大会内容  
が届いたので、本日は、会場一覧のみ配布する、詳しい説明については、9 月理事会にて行う  
旨報告があった。バッチデザインは、9 月 29 日が締切ですので、応募される方は、事務局（上  
野）まで送って下さい。

### 第 7 号議案 大物賞（第 2 ステージ）について（池田協会長）

- ・ 連盟大物部会で検討されている、300 号達成者の今後の扱いについて、協会長より概要を説明  
していただき、意見を聞く
- ・ 概要の（案）としては、新たにランクを新設し、特別大物の一部魚種を取り込んで 200 号とす  
る。ただし、大物システムの改修にかかる費用が発生する（金額は不明）ことと、本来の大物  
賞等の集計が、非常にややこしくなる恐れがある。

※協会において意見を聞く

- ・ 第 2 ステージの寸法が違っているのは、同じ仲間と違うのが寂しい気がする、寸法が同じで 301

号から再スタートが良いのではないか。そうすればシステムの大幅変更も必要が無い。

- ・数人の方が同じ意見であった。
- ・特別大物はいれない、15 魚種とする。
- ・システム改造費用が多額にかかるのであれば、現行システムを使える方策を考える方が良いのでは。

※大阪協会の意見としては、301 号からの再スタートとすることを、連盟に提案する。

#### その他

- ・先日、購入したライフジャケットのセンサー部に不具合の可能性があるので、一度、点検してほしいとの報告があった。
- ・湯浅大物部長より、大物システムで大物・特別大物を申請されているクラブは、理事会開催の前日までに入力を終了されるようにとの要請があった。  
システムの入力の中で、潮については可能な限り入力、釣場についても、正確に入力して下さいとの要請があった。
- ・ライフジャケットを追加注文されるのであれば、現在、納期がかかりそうなので、早い目に注文をお願いしたい。

20 時 10 分閉会